

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹はうす松江		
○保護者評価実施期間	2026年1月8日		2026年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	2026年1月8日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 18人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの状況などについて対応の仕方などアドバイスをしている。</li> <li>子どもの成長に応じた接し方など相談しやすい環境がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画の更新時期は必ず個別でモニタリングをおこなっている。相談しやすい環境を作るため個室で面談方式でおこなっている。</li> <li>送迎時に保護者から自宅での様子を伺い、困っていることがあればカンファレンスなどで多職種で検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用児は全て訪問看護にもつながっており、自宅での情報も共有できる環境にあるため、より具体的なアドバイスができる。</li> <li>スタッフが共有しやすいように要点を可視化するなどの工夫をしている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の支援の内容や子どもの成長発達について記録し共有することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者とのやりとりは直接お伝えしたり連絡帳への記載をしている。</li> <li>その日の遊びの計画などを開所前に話し合う。外遊びや感覚遊びを取り入れ、意欲を引き出せるよう多職種で取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児発に関わるスタッフ以外にもカンファレンス等で情報を共有し、多職種の視点から考察することによりよりよい成長発達を促せるよう関わっていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時に備え、子どもやスタッフの安全を考えマニュアルに沿った行動ができる。また、子ども一人一人に沿った避難方法を定期的に検討し備えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な避難訓練や災害訓練がおこなわれている。訓練の内容は記録に残し、スタッフ間で共有している。保護者には連絡帳で伝えている。</li> <li>事業所の外で避難が必要になった場合の集合場所を保護者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な訓練をおこない、色々な場面を想定して対応力を高める。</li> <li>子どもや保護者が安心して利用してもらえるよう、訓練内容や緊急連絡先の確認などをおこなっていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時の車を置くスペースがやや狭い事。</li> <li>こどもの活動等のスペースが十分に確保できていない場合がある。</li> <li>配置スタッフが少ないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お迎えのタイミングが重なる事。</li> <li>放課後デイの送迎車が戻って来る時間帯も重なってしまう事</li> <li>利用人数が多い場合、机や椅子も多くなり遊ぶスペースが狭くなっている場合がある。</li> <li>自由に動ける児が増え危険を伴う場面がある。</li> <li>段差があるところもある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お迎え時に速やかにご退室していただくよう、声をかけさせていただく。</li> <li> unnecessary 物品を片付け遊びのスペースを確保していく。</li> <li>医療デバイスが手の届くところにあることもあり、スタッフが声を掛け合い、また利用児たちにも大切なものであることを繰り返し説明していく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹はうす松江限定で子ども同士や指導者同士の交流会があると良いとの意見があった。</li> <li>保育所や認定こども園、幼稚園等との交流はできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は松江限定での保護者参加型のイベントは実施していない。冬野で合同イベントを催している。</li> <li>感染症の心配がある場合もあり、開催時期など検討が必要</li> <li>利用児の年齢も3歳未満の児が多く、感染面でも心配なことから具体的な計画等は現在のところはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が自由に参観できる週間などを設けてもよいのではと、スタッフ間からも意見があり検討中である。</li> <li>暑さや寒さが穏やかな期間の開催を検討している。</li> <li>他施設を訪問しての交流などは難しいかもしれないが、地域の公園や参加できそうなイベント等があれば交流できる機会がもてるのではないかと考える。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な通信やホームページ、SNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に対する自己評価の結果を子どもや保護者に対する発信が十分であるといえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社全体のSNSで活動の様子を投稿しているが、定期的なものではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の活動内容等も含めて情報の発信を活性化していきたいと考える。</li> <li>個人情報の取り扱いについてはスタッフ一人一人の認識を高め安全性を確実にしていく。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 幹はうす松江

公表日 2026年 3月 27日

利用児童数 2026年 1月 5日 11名 回収数 11名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	9	2				利用児が多い時はスペースが狭いときも あり、活動内容を考えたり、室内を広く使
	2	11					
	3	10	1			・送迎時の車の停めるスペースをもう少し確保していただけると有難いです。	お迎えの時間が重なってしまうこともあり、できるだけスムーズにできるよう、準備を整えていく。
	4	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5	11					
	6	11					
	7	11					
	8	11					
	9	11					
	10	11					
	11	4		2	5		日中の屋外活動で近隣の保育所の児童や 児童発達支援の児と関わることがあった
保 護 者 へ の 説 明 等	12	11					
	13	11					
	14	10			1		松江独自では開催していないが、冬野幹 らんとで合同でイベントをおこなってい る。
	15	11					
	16	11				・子どもの状況などについて対応の仕方 などアドバイスしていただいています。	
	17	11					
	18	10	1			・幹はうす松江限定で子ども同士や保護 者同士の交流会があるとより参加しやす いです。	参加希望の方がどのくらいおられるか、 スタッフの配置なども含め、今後検討して いく予定。
	19	11				・子どもの成長に応じた接し方など相談 しやすい環境を作っていただいています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1			会社のInstagramで松江の子どもたちの様子も活発に発信していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1			個人情報の取扱いについては契約書にも記載し、スタッフ間でも統一した対応をし
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			1	マニュアルに沿って安全対策を常におこなっていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			1	季節感を大切にし感覚遊びも取り入れ、毎日楽しく遊べる工夫をする。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10			1	研修会やカンファレンスなどで常に新しい情報を取り入れていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		幹はうす松江		公表日		2026年 3月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用児の多い日は、机や椅子は適宜片付けるようにしてスペースを確保している。</li> <li>利用児の特性を考慮スペースや配置を工夫している。</li> <li>長期休暇の時は、朝から定員に達しているため、普段より狭く感じため、移動時には声をかけ合うようにしている。</li> <li>ふすまを撤去したり、医療物品を適宜移動したり、意見を出し合ってスペースの調整を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容を考慮したり、物品の配置を変えたりしながら安全に保育できる環境を作っていく。</li> </ul>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が少なくなる時は訪問看護のスタッフで補っている。</li> <li>体調は優れない子どもがいる時は施設前で遊んだり、散歩は順番で行くなどの工夫がされている。</li> <li>訪問看護師が来園してくれたり、臨機応変さがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動ける子どもが多くなり危険を伴う時がある。→声をかけあう、見守りを強化するなど危険防止に努める。</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>全てをバリアフリーではなく、安全を保ちつつ、適宜バリアにもなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>段差あり。また床からの介助のため危険も多い。</li> <li>→介助者の負担を考慮し、二人体制での抱っこや入浴介助は今後も徹底する。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの空間はきちんと設定されている。</li> </ul>		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びに応じて部屋の使い方を工夫している。</li> </ul>		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	1 未記入1	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝集まって話せることが増えている。</li> <li>面談後など共有している。</li> <li>その都度、話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンスや情報伝達ノートも活用していく。</li> </ul>	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	1 未記入1	<ul style="list-style-type: none"> <li>申し送りノートの活用</li> <li>集まる時間を設けて各々が意見を出し合うことに積極的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善につながることは各自積極的に意見を出していく。</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価は受けていないが、毎年実施する事業所評価のご家族からの意見を参考に業務改善を行っている。</li> <li>外部から来られた見学者や実習生の受け入れは随時おこなっており、情報提供や意見交換している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学希望者や保護者なども含め、いつでもだれでも来てもらえる環境である。</li> </ul>	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の案内があり、興味ある研修を受講する機会がある。</li> <li>研修の案内や録画視聴、zoom研修などの機会がある。</li> </ul>			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節などの行事は工夫されている。</li> </ul>		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>面談前など多くの人からの意見や訪問看護の様子などを聞いて聞いていることが多い。</li> <li>保育士、看護師間で情報交換がしっかり行われている。</li> </ul>		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで話し合ったり、情報共有し合ったりしている。</li> <li>日常業務の中で、子どもの発達について意見交換している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング時の周知を徹底します。</li> </ul>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画は家族からの聞き取りをされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書類がファイルに保管されている。</li> <li>スタッフはいつでも確認できる環境である。</li> </ul>	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	1		子どもの適応行動の状況について、より理解が深まるよう日々短時間でもスタッフ間で話し合いの場を設けていきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	1 未記入1	・話し合いは行われている。 ・口頭で共有 ・保育士が中心となって、季節に合わせた行事に取り組んでいる。	スタッフ全体が周知できるよう、要点を伝達できる工夫が必要と考える。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	1	・保育士中心に活動内容は日々変化している。 ・意見を出し合っている。 ・幹らんどとも連携している。	幹らんどスタッフとも共有しているので話し合いの内容などもよりわかりやすく伝えられるようにしていきたいと考える。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18		その日の体調に合わせて支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	1	・子どものその日の体調に合わせて活動内容や支援者の役割分担を調整している。 ・ホワイトボードを活用 ・常在するスタッフが中心となって開催されるミーティングやノートの活用。	・各々が行い全体でできないことも多くある。朝のミーティングを行い情報伝達等ができるようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	2	・子どもの午睡時間に共有している。 情報共有している。 ・支援している中でも、気づいた点や改善策など伝達し合える環境づくりができています。	話し合った内容がどこにも残っていないこともあるので、伝達ノートに要点をまとめるなどしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18		・子どもの体調、発達状況を記録している。 ・連絡ノートやLINEでの連絡などで情報共有されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	1 未記入1		会議開催のときは参加する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17	1	・連携、情報共有できるようにしている。 ・必要時、情報提供し、連携している。	・必要時は連携している。 →関係機関との連携の支援体制は維持していく。 ・就学に向け支援学校の先生などの見学があり、情報共有している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	・すぐに連携がとれるようにしている。 ・家族、保健師と連携し、地域の保育所、他の児童発達支援事業所との併行通所をすすめている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	1 未記入1	・直接ではないが、家族を介して間接的なやりとりをしたり、施設に見学に来てもらっている。 ・共有できる体勢は整えている。 ・必要時、情報提供している。 ・保健師とも連携されている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	2 未記入6	・利用児の併行利用している関連施設の児童発達支援センターとは連絡しやすい。 ・保健師との連携も必要時取り組んでいる。	・積極的に連携は図っていきたい。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	5	・ 幹でのイベントが地域交流を含めており、子ども同士のふれあいがみられる。 ・ 戸外遊びや買い物体験を通して交流している。	・ 公園で保育園の子どもや近隣の子どもと一緒にいることがある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18		・ 送迎時に口頭で詳しく伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	3	・ 交流会を何度か開催し、保護者同士も話せる場を提供している。 ・ 研修の情報をSNSを利用して提供している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18		・ 面談を実施	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18		・ 送迎時に対応	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18		・ 交流会を通して、母同士がつながり、連絡を取りあっていると聞いた。 ・ 運動会や季節のイベントで意見交換できる場を設定している。 ・ 幹らんどと交流。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18		・ 送迎時や訪問時にあった相談を共有できている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18		・ みき通信を発行している。 ・ インスタグラムでは、子ども達の楽しそうな普段の表情が見れて良い。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	1		・ 携帯電話での写真撮影 →個人情報の適正な取扱いを確保する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	2	・ 事業所としてはある。(カフェの利用やイベント開催など) ・ 積極的に招待することはできていないが、地域の方の見学は自由であり、開放的な運営である。 ・ 自治会長さんとの交流もあり、認知度はあがったと思う。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18		・ 定期的に行っている。他県や他の地域で災害があった際、見直すことができている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	17	1	・ 保管薬の掲示はしている。	・ 全員が必ず見るように徹底する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18		・ 食事提供はしていないが、アレルギーについては家族から聴取し、把握している。 ・ お買い物体験やもの作りの時に再確認している。 ・ 医師からの指示書はないため、親からの聞き取りで注意している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18		・ 安全計画に基づいて、避難訓練を定期的に行っている。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18		事業所から離れる場合も避難場所を伝えている。		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	2		毎週多職種でのカンファレンスを開催しており、虐待につながる危険性なども考慮している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	1		毎週多職種でのカンファレンスを開催しており、身体抑制についても周知している。具体的な例があるときは関わるスタッフだけでなく全体で検討している。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹はうす松江		
○保護者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 18人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の状態に合わせて看護師を配置し安全に過ごせるように配慮している。</li> <li>・長期の学校休業の際は積極的に児童発達支援の子どもと、遊びを通して関わるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医ケアスコアに応じ看護師を適切に配置している。</li> <li>・同じフロアで同じ目線で過ごせるよう、ベッドは設置せずに布団で過ごしている。活動時はバギーに乗って他児と一緒に屋外に出たり、夏はプールや水遊びも参加できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護師が柔軟に出入りできる環境であるが、より開放的な雰囲気づくりをおこなうことで子どもたちが色んな人と関われるようにしていく。</li> <li>・成長に伴い身体も大きくなっているため、移動の際は介助者2人で抱っこすることを徹底していく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安楽な入浴を提供できるようスタッフ間での情報共有をこまめにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラブルシューティングを定期的に行ない、多職種で考える。</li> <li>・訪問看護部門とも情報共有をし、状態の変化を見逃さないよう努力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいスタッフが動員された場合は、職場全体で情報を共有しなおし、シミュレーションも取り入れながら安全性を高めていく。</li> <li>・多職種でみることにより、危険を未然に防ぎ、安心できる環境を整えていく。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行期に備えた具体的な対策はまだおこなわれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行期に関してはまだ未経験であり、情報を集めていく段階にある。</li> <li>・学校との情報共有も不十分である。</li> <li>・保護者の思いや考えも早期から話し合いができる機会をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から教員が当事業所に見学にきたり、情報を共有することはできている。地域支援も含め、移行期に備え個別の対応が必要となるため、意見交換ができるように環境を整えていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設とのかかわりは十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段に限りがある。</li> <li>・長期休暇時など、季節的に移動が難しいことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設に行くことは難しいが、地域の公園や参加できるイベントがあれば積極的に参加し、色んな人と関われる環境を作りたいと考える。また、当法人で開催される「秋祭り」では、誰でも参加できることから、より多くの人との出会いの場であるため、参加を促していく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な通信やホームページ、SNS等で、活動概要や行事予定などの発信は十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人全体のSNSやホームページは稼働しているが、定期的に放課後デイのことを発信しているわけではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後はより積極的に発信していく。</li> <li>・個人情報の取り扱いにはスタッフ一人一人が周知し安全を確保する。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 幹はうす松江

公表日 2026年3月27日

利用児童数 2026年1月5日 3名 回収数 2名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1			1		お便りやSNSを通して保護者にもわかりやすく伝えていく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1			1		長期休暇で朝から利用していただけないときには積極的に戸外活動をし色々な人と触れ合えるようにしている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2					
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			1	会社全体のSNSを活用していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1			1	個人情報の取扱いは契約書にも記載し、スタッフ全体が統一した認識をもつようにしていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1	定期的な訓練は ongoing している。日々のお帳面にも記載している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1	色々な場面を想定して避難する訓練を実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1	想定外の災害が起こることもありうるので、定期的に訓練を実施していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1			1	常に環境整備をおこない、安全対策をしていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1			1	季節感を大切にし、感覚遊びなども積極的に取り入れ、日々楽しいと感じてもらえる努力をしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		幹はうす松江				公表日		2026年 3月 27日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		17	1	・長期休暇の時は少し狭く思うが、声かけをたくさんして児童発達支援の利用児とも交流しあっている。	・動ける利用児と寝たきりの利用児が一緒に危ない場面あり。 →声をかけあう、見守りを強化するなど危険防止に努めていく。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		17	1	・医療的ケアの必要な子どもに対する看護師の人数は確保されている。				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		16	2	・入浴できるように配慮したストレッチャーの使用など工夫している。	・移動時は2人介助を徹底している。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		18						
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		18		・着替えや医療的ケアの際は、囲いを使いプライバシーを確保している。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		18					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		18					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		16	2		・常に意見交換ができるようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		14	4	・外部評価は受けていないが、毎年実施する事業所評価のご家族からの意見を参考に業務改善を行っている。 ・外部から来られた見学者や実習生の受け入れは随時おこなっており、情報提供や意見交換している。	誰でも見学希望はいつでも可能である。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		18		・ZOOMやオンデマンドの研修を受けられる体制である。 ・カンファレンスでの情報共有や研修の実施もある。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		17	1		支援プログラムは定期的に見直している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		17	未記入1				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		16	1 未記入1	・話し合い情報共有している。	計画、モニタリング等、共有ファイルに保存しており、いつでも確認できる状況にある。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		16	1 未記入1				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		16	1 未記入1				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		15	2 未記入1		保護者とも定期的に面談をおこない、記録を残している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		16	1 未記入1	・利用時間が短く活動時間の確保が難しい中、保育士が中心となってかかわってくれている。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	2		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	17	未記入1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	1 未記入1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	1 未記入1	・申し送りや連絡ノートの活用	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	未記入1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	未記入2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	15	1 未記入2	・複数の組み合わせで支援されているのか認識できていないところがある。 →総合的な支援提供について、スタッフに周知できるようにしていきたい。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	2 未記入2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	未記入3		・話し合った内容をスタッフ全体に積極的に周知することが望ましいため、カンファレンスなどを活用して共有していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	1 未記入2	・連携、情報共有できるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	17	未記入1		・こちらの計画は学校には伝わっていないのが現状であるため、情報共有していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	15	1 未記入2	・家族を通して共有しており、いつでも共有できる体制は整えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	3 未記入6		・対象者なし。2027年3月に卒業する子がいるため、移行支援を整えていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	5 未記入3		・今後も連携をはかっていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	7 未記入3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	8 未記入3	・理事が参加	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	1	連絡ノートや送迎時に詳しく伝えている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	3 未記入1		・保護者向けの研修は冬野事業所でも開催されている。その他の研修も保護者に案内をしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	1 未記入1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	未記入1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16	1 未記入1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	未記入1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	1 未記入1	・ 昨年の秋祭りでは、きょうだい児も一緒にファッションショーに参加。キャンプ体験では父母の交流会を開催した。 ・ 事業所でのカフェの運営も交流の機会となっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	未記入1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17	1	・ インスタグラムを活用し、情報を発信している。	・ 個人情報の適正な取扱いを確保する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18		・ 言動には十分注意されている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	2	・ 地域の方の見学は自由であり、開放的な運営である。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18		・ よく話し合いがされている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	1 未記入1	・ 食事提供はしていないが、アレルギーについては家族から聴取し、把握している。	・ 利用開始前の説明時にアレルギーの有無は確認しており、ホワイトボードに記載している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18		・ 対策はされており、改善も必要時されている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18		・ カンファレンスを活用している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	3		・ 計画書はいつでも閲覧できる状況にある。